

白神山地

Shirakami-Sanchi

白神山地は、青森県南西部と秋田県北西部の県境にまたがる標高約200mから1,250mに及ぶ山岳地帯の総称です。世界自然遺産に登録されたのはこの白神山地の中心部に位置する約17,000haの地域で、広大で原生的なブナ林が残されています。



くろくまの滝
日本の滙百選にも数えられるこの滙は落差85mで、青森県最大級。駐車場より徒歩約15分。



白神山地ビターセンター
白神山地のブナ林について詳しく解説されている。映像体験ホールでは巨大スクリーンで臨場感あるサウンドと映像で白神山地の四季を見ることができる。1998年青森県設置。



ブナ林
雪の多い白神山地では、よく雪に耐えることのできるブナの純林が残している。林床にサガシ多く、すらりとした灰白色のブナの幹が立ち並んだ森の様子は、東アジア地域のブナ林しか見られない独特の景観。ブナは保水力が高いため、野生動物の生息地としても重要なこともよく知られている。



ブナを主とする天然林で、森林浴に最適。林道沿いにあり、手軽に白神山地の原生的なブナ林の雰囲気を味わえる。林内の歩道の一部にユニバーサルデザインを取り入れたウッドチップ舗装道を整備している。



ツキノワグマ
体長120~145cm、体重70~120kg。胸に白く三日月の模様があるのが特徴。本州に生息する最大の陸上哺乳類。雜食性だが、植物質の割合が多い。



白神山地世界遺産センター(藤里館)
白神山地の自然や世界遺産に関する資料を展示しており、図書コーナーやDVDを見ながら休憩できるスペースがある。自然ガイドバイザーが常駐し、来館者への案内、解説を行うほか、自然観察会や子どもたちを対象とした環境教育活動を行っている。1998年環境省設置。
*裏表紙参照



十二湖エコ・ミュージアムセンター「湖觸館」
自然に関するハイビジョン映像やジオラマなどの展示物が見られる。遊歩道や観察小屋を使って、自然を学ぶこともできる。1999年青森県設置。

十二湖。
青森県側の白神山地西部に位置するブナ林に囲まれた33の湖沼群。江戸時代に発生した大地震による山崩れによってできたといわれている。周辺道路は冬期通行止め。



白神岳
白神山地のなかでは向白神岳に次いで2番目の高さを誇る(標高1,235m)。山頂からは遠産地域を一望できる。ニッ森登山道入口(標高約920m、駐車場、公衆トイレあり)から頂上までは1時間弱かかる。



二ツ森
標高1,086mの山頂からは遠産地域を一望できる。ニッ森登山道入口(標高約920m、駐車場、公衆トイレあり)から頂上までは1時間弱かかる。



暗門の滝
三段からなる流で上から順に一の滝42m、二の滝37m、三の滝26mが点在し、いずれも迫力のある姿をしている。



シラガミキワガタ
「白神」の名をもつ唯一の植物で、岩場や草地に稀に生える。固有種。



フジミドリシジミ
羽表が金属光沢の美しいチョウ。幼虫がブナの葉しか食べないため、ブナ林以外で見ることはできない。



アオモリヤマンテマ
岩場に生える多年草で、6月頃に直径2cmくらいの可憐な白い花を咲かせる。固有種。
*絶滅危惧Ⅱ類(VU)



イヌワシ
翼長2mを超える大型のワシ。山岳地帯に棲息し、切り立った崖に営巣する。国の天然記念物及び国内希少野生物動植物種。
*絶滅危惧ⅠB類(EN)

世界自然遺産の登録区域
A 地域：厳正な保護管理を図る地域
B 地域：自然環境の保全を基本として利用との両立を図る地域



*環境省レッドリスト
絶滅危惧ⅠB類(EN)
近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類(VU)
絶滅の危険が増大している種